

郡山市におけるテレワーク（在宅勤務）の実施状況をお知らせします



ターゲット 17.14

SDGs ターゲット 17.14 「持続可能な開発のための政策の一貫性を強化する。」 TEL：924-2518

令和3年9月21日
総務部 人事課
担当：宗方 成利
TEL：924-2041

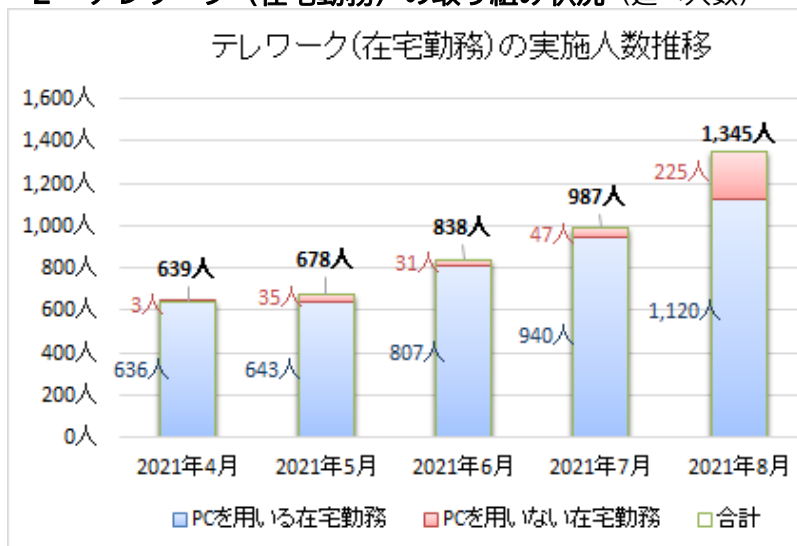
政策開発部 DX 戦略課
担当：渡辺 豊

「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止」及び「働き方改革」のため取り組んでいる郡山市のテレワーク（在宅勤務）の実施状況について、お知らせします。

1 テレワーク用パソコンの配置と拡充

- ・2020年4月20日（月）～テレワーク専用パソコン（全46台）により試行開始
- ・2021年2月中旬～テレワークにも使用できるパソコンを600台配備（通常の執務にも使用。）
※600台のパソコンの購入費用（約3,900万円。1台当たり約6万5千円）

2 テレワーク（在宅勤務）の取り組み状況（延べ人数）



・2020年度は年間延べ1,123人がテレワーク用パソコンを在宅勤務に使用

・2020年度末（2月中旬～）のパソコン配備（600台）により、**2021年度のパソコン利用は、大幅に増加した。**
（4月～8月の計 延べ4,146人）

・2021年8月は、**1日当たり64人が在宅勤務を実施。**（1,345人÷8月の要勤務日数21日）

・なお、出勤者数7割削減の要請がなされた8/8～8/31において在宅勤務を実施した人数は、1,292人

3 テレワーク（在宅勤務）の導入効果（実施した職員の感想）

- 通勤の負担が減り、その分の時間を子育てや家庭のことに有効に活用できた。ワーク・ライフ・バランスに効果があると思う。働き方の幅が増えた。
- 避難所での業務の際、オンラインでパソコンを使用することができ、報告業務の効率が上がった。停電のときも使用できるので、業務の継続に効果があると思う。
- 資料作成や e-ラーニングによる研修など、個人で進められる業務に集中して取り組むことができた。
- 職場の密集・密接の低減（コロナ感染防止）にも効果があった。
- 市の場合、税・福祉・戸籍等の個人情報を取り扱う業務や、保育所等対面を要する業務も多く、テレワーク（在宅勤務）をしやすい部署と、しにくい部署があると思う。

4 今後の見込み

- ・デジタル市役所を目指し、**5レス**（ペーパーレス、キャッシュレス、カウンター（窓口）レス、ファイルレス、会議（ムーブ）レス）を推進しており、今後、テレワーク、モバイルワークにより行うことができる業務が増えていく見込み。
- ・現在は試行段階でもあり、職員の意見も聴きながら、より良いものとしていきたい。